

学校法人 東京聖徳学園

聖徳フラッシュ

第27号

平成18年12月1日

発行 学校法人 東京聖徳学園



http://www.seitoku.jp/

- 聖徳大学大学院 聖徳大学附属小学校
聖徳大学 聖徳大学附属幼稚園
聖徳大学短期大学部 聖徳大学附属第二幼稚園
聖徳大学幼児教育専門学校 聖徳大学附属第三幼稚園
聖徳大学附属高等学校 聖徳大学附属浦安幼稚園
聖徳大学附属聖徳高等学校 聖徳学園三田幼稚園
聖徳大学附属中学校 聖徳学園八王子中央幼稚園
聖徳大学附属聖徳中学校 聖徳学園多摩中央幼稚園

SEITOKU FLASH 聖徳フラッシュ

主なトピックス

- モーツァルト in 聖徳 2006 好評開催中
秋は、全国7支部パーティーの季節
卒業生の笑顔がいっぱい 香和会
インタビュー 介護福祉学科
「Girls be ambitious」
ボランティア活動グループの「聖徳ビーシーズ」が発足
中国研修旅行 日本文化科 留学期間情報コース
文化祭(聖徳にこにこまつり) 幼児教育専門学校
第24回 聖徳祭 盛況に開催される 附属中学校・高等学校
第24回 体育祭 大成功! 聖徳中学校・高等学校
言葉の大切さを学ぼう! 附属小学校
園児のお夢からの手紙 附属幼稚園
ふれあい交流学習 附属第三幼稚園

INDEX

- 学園 1~2
大学院・大学・短大 3~4
幼児教育専門学校 5
附属中・高 5
聖徳中・高 5
小学校 6
幼稚園 6~7
インフォメーション 8

より豊かな未来に向け ISO 認証を更新

聖徳学園は、平成15年11月に日本の教育機関では初めて品質管理システムのISO9001および環境管理システムのISO14001、両国際規格の認証を同時取得しました。
その後も、高品質でより良い教育を可能にするシステムと地球環境を守る管理システムを継続した結果、平成18年11月に認証を更新しました。国際機関の定めた規格を高いレベルで更新したことにより、聖徳学園は次の高みに向けて新たな活動を展開します。

ISO 9001 (教育の質マネジメントシステム)
ISO 14001 (環境マネジメントシステム)

ご意見/ご感想募集「聖徳フラッシュ」は皆さんの広報紙です。本紙に関するご意見/ご感想を下記サイトにて受け付けております。
http://www.seitoku.jp/gakuen/toiawase/
「その他のご意見・お問い合わせ」まで

モーツァルト in

SEITOKU MOZART 2006

好評開催中 聖徳2006



開会式のテープカット

音楽文化学科の教員と大学院生によるミニコンサートが行なわれました。そして、テープカットをもって「モーツァルトの自筆譜(K185)展」と「著名音楽家の書簡展」が開幕し、「セレナード」が開幕し、「セレナード」がK185の自筆譜が初めて公開されました。

「セレナード」K185は、「モーツァルト」と「交のあったアントレタター家の息子が、ザルツブルク大学の予備課程(今の教養課程)を修了するのを祝して、「行進曲」K189とともに作曲されました。これら二曲の自筆譜は綴りあわせられ、

モーツァルト生誕二五〇年にちなみ、「モーツァルト in 聖徳2006」が開催されています。「モーツァルトの自筆譜(K185)展」を中心に、各新聞記事、テレビ、通信社のホームページ、有名音楽雑誌のトピックス記事等の各種メディアで扱われ、その充実した内容が話題を呼んでいます。
秋晴れの十月十日(火)、本学クリスタルホール一階を会場に開会式が開催されました。松島副学長のご挨拶、プログラム内容の紹介の後、



開会式のミニコンサート

この自筆譜について、モーツァルト研究の第一人者・海老澤敏敏先生が、十月二十一日(土)に講演をして下さいました。「セレナード」K185がどのような作曲され、演奏されたのかをわかりやすく説明して下さい、講演会の中ほどに組み入れられた、高橋大海音楽文化学科長指揮&聖徳フィルハー



海老澤敏敏先生の講演

個人所有になっていました。が、数度のオークションを経て、その大部分は五線紙一枚ずつバラバラに売却され、所在不明となりました。幸いにも「セレナード」K185の第一・第七楽章は楽章ごと綴じた状態で保持され、一九八八年より聖徳大学の所蔵となっています。これまでに、プロ・アマ問わず、多くの皆様にご来場いただきました。

モニーオーケストラによる生演奏も一層生き生きと聞こえました。催しの二環として十月二十四日(火)には、聖徳オペラ公演第三回「フィガロの結婚」が上演されました。(下記の詳細記事をご覧ください)
このように、「モーツァルト in 聖徳2006」は学術研究の発展と芸術活動の活性化に貢献していますが、同時に、地域の皆様との文化交流にも一役買っています。特に聖徳大学オーブン・アカデミー(SOA)では、この第二期に三つの特設講座が開設され、音楽文化学科の教員が総力を挙げて取り組んでいます。モーツァルトの音楽を語るのに、これほど様々な切り口があるのかと驚くとともに、彼の音楽の奥深さを感じます。三講座合計で百数十名の皆様に受講いただいていることから、モーツァルトに対する関心がいかに高いか、また、近隣の皆様の、聖徳大学への期待がいかに大きいかを改めて痛感させられます。
演奏会&リサイタルのシリーズも始まりました。奏楽堂を舞台に、オペラ・ア



聖徳フィルハーモニーオーケストラの生演奏

アから室内楽、ピアノ・コンサート、ポップス編モーツァルトまで、音楽文化学科の教員が趣向を凝らしてプログラムを練り上げました。初回の演奏会「モーツァルトを歌う」オペラ・アリアとアンサンブルの楽しみ(十一月四日)では、「ミラノ・スカラ座でモーツァルトのオペラを観たときより、今日の演奏会のほうが体に染み渡りました。」との声をいただきました。「モーツァルト in 聖徳2006」はまだまだ続きます。十二月六日(水)には「市民の中のモーツァルト」セレナードの世界」と題する国際シンポジウムが開催されます。海老澤敏敏先生をコーディネーターに、ルドルフ・ファン・ガムミューラー、オットー・ビーバ博士、本学の原佳之先生をパネリストに迎えます(日・独語の逐次通訳付)。

これらの催しに関するお問い合わせは、聖徳大学音楽研究センター事務室(電話047-365-1111、内線3231)までお願いいたします。



当日はあいにくの天気にもかかわらず、多くのお客様に「ご来場いただきました。演奏は高橋大海音楽文化学科長指揮のもと本学講師と大学院生による歌手陣・音楽文化学科の学生との合唱、聖徳フィルハーモニーオーケストラで行われ、「素晴らしきレベルで楽しめた」との好評をいただきました。

会場は終始和やかな雰囲気にも包まれ、本学学生も興味深げに演奏に聴き入り、時にはお客様と一緒に楽しげな笑い声を上げていました。公演はおお客様の暖かい拍手とブラボーの声の中、終了しました。



Series Concert No1376 聖徳大学シリーズコンサート 第三回オペラ公演 「フィガロの結婚」を終えて

聖徳学園同窓会連合会評議員会開催

平成十五年十一月に発足した聖徳学園同窓会連合会は、今年で四年目を迎えました。同窓会連合会のホームページは第二回評議員会において了承され、七月十三日に開設いたしました。是非一度アクセスしてください。

第三回評議員会では、主に同窓会連合会で行なわれるイベントについて話し合われました。

その中で、親子二代・三代にわたり入学される方が沢山いらっしゃるの、そのよ

うな方をさまざまな式典の時にご紹介や記念撮影等を考えてみてはどうでしょうかという提案がありました。各学校及び同窓会でそれぞれ企画して、次回の評議員会で報告されることになりました。

川並弘昭会長は、「聖徳学園七十五周年式典(平成二十年)に向けて新一号館の建設が進んでいます。一号館にありました利根山光人先生のモザイク壁画「若さ」につきましましては、新一号館に

香和会 秋は、全国七支部パーティーの季節 卒業生の笑顔がいっぱい

聖徳大学香和会は、大学院、学部、短大部の卒業生約七万人で組織された同窓会です。来年、香和会は、おかげ様で創立四十周年を迎えます。卒業生は、社会や家庭で建学の精神「和」を尊び、日本全国はもとより海外においても、幼児教育・栄養学の分野を中心に活躍しています。

秋は、卒業生の笑顔が揃う季節です。聖徳祭において第十三回ハッピーホームカミングが企画され、各支部パーティーが開催されています。支部パーティーの様子を紹介します。

十月一日



10月1日(日) 北海道・東北支部パーティー

十月一日(日)には、新潟で北陸・上信越支部パーティーが開催され、川並孝純学園事務局長、保育科教授鈴木みゆき先生を迎え、会員十四名が参加いたしました。

保管いたします」と述べられました。

最後に聖徳大学一号館増改築工事(一期工事)竣工式に対して、同窓会連合会よりお祝いさせていただいたことが、高橋博子幹事長から報告がありました。

同窓会連合会では皆様に身近に感じていただくために、その愛称を募集することになりました。(例) 聖徳大学附属中学校・高等学校II 爽和会 詳しくはホームページにてお知らせいたしますので、是非ご応募ください。

講演会では鈴木先生に「早寝、早起き、朝ごはんの大切さ」を伺いました。鈴木先生のお話はユーモアにあふれ、わかりやすく、学生時代に戻った様に熱心に学ばせていただきました。

続いて十月二十二日(日)は、大阪で近畿・中国・四国支部十一月三日(金祝)は、那覇で九州・沖縄支部、十一月十九日(日)は土浦で北関東支部と各支部で続々とパーティーが開催されました。卒業生を結ぶ香和会は、昨年、北関東・南関東を新たに設立しました。これ以降も、十一月二十六日(日)の南関東支部、十二月十七日(日)の甲州・中部・東海支部の各パーティーと「和」が続いてまいります。



鈴木みゆき先生

GP 大学教育改革プログラム 合同フォーラムに出展

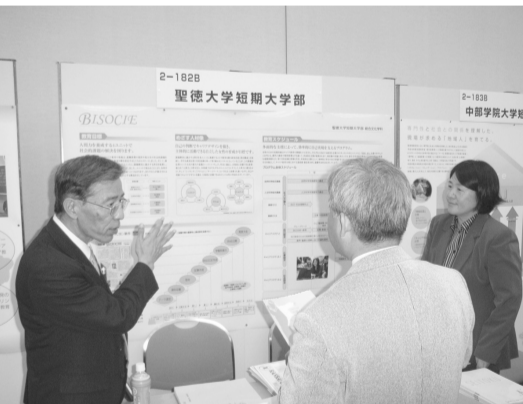
知財戦略課

十一月十二日(日)・十三日(月)、文部科学省主催の「大学教育改革プログラム合同フォーラム」(GP合同フォーラム)が、パシフィコ横浜で行われ、現代GP(現代的教育ニーズ取組支援プログラム)に採択された、本学総合文化学科「人間力を養成するユニット別キャリア教育」社会に貢献する自立した女性の育成」が、ポスターセッションに出展しました。

このフォーラムは、全国の国公私立大学短期大学・高等専門学校の中から、他大学の教育改革の参考となる「特に優れた教育プロジェクト(取組)」について、広く社会へ情報提供することにより、高等教育の更なる活性化ならびに高度な人材育成に役立てることを目的として行われるものです。

なお、今回は、特に高等学校関係者対象の分科会も開催され、採択された大学の特色ある教育の取組をPRする場にもなっています。

フォーラム当日は、総合文化学科の



先生方とキャリア支援室の職員が取組の内容、方法、工夫などを説明いたしました。

来訪者は二百名を超え、その中には他大学の学長、学部長をはじめ大学の上層部の方が多数お見えになり、本学の取組への関心の高さが窺えました。

GP ウェブ壁新聞 「BISOCIE(ピンシエ)」を制作

総合文化学科

短大総文化学科では、文部科学省の補助金を得て、新しいキャリア教育プログラムを実施しています。四月以降、キャリア支援室と協働で、グループワークや営業責任者セミナーを行なってきましたが、その一環として、七月からウェブ壁新聞「BISOCIE」の制作に取り組みしています。BISOCIEとは、「become independent in society(社会的自立)」の略称で、社会で自立した女性として活躍することを願ってネーミングされたものです。ブランディングに十、二十

人のグループを作り、それぞれテーマを決めて、取材に行き、記事を作成していきます。たとえば、自分の専門に関連する職場や先輩を訪ねたり、地元の名物店にインタビューしたり…。取材の約束をとりつけるのも一苦労ですが、断られる経験も、「次に何をしたらよいか?」と考えるきっかけになります。自分たちで試行錯誤を重ね、みんなで一つのものを作り上げることは、社会に出

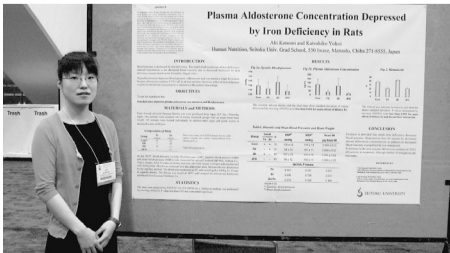


院生の研究、二〇〇八年度 加藤記念国際交流助成獲得 本年度笹川科学研究助成 獲得に引き続き快挙

この度、大学院人間栄養学研究科博士後課程許斐亜紀さん(二年)の研究が(財)加藤記念バイオサイエンス研究振興財団から第十八回(二〇〇六年度)加藤記念国際交流助成を受けました。指導教員は、大学院人間栄養学研究科微量栄養素学特殊研究担当の横井克彦教授です。許斐さんは、今年度、(財)日本科学協会から笹川科学研究助成(生物領域)も獲得しており、それに引き続き快挙です。

聖徳大学の院生が本国際交流助成を獲得したのは、

今回が初めてです。なお、平成十七年度受給者の所属は、国立研究機関が七十四%、国立研究機関が十五%の計八十九%を占めていました。



発表会場: アメリカ合衆国カリフォルニア州サンフランシスコ、モスコン・コンベンションセンター (Moscone Convention Center, San Francisco, California, USA)

キャリア支援室 だより 二〇〇八年三月卒業予定者 企業系就職活動スタート

十月十一日(水)、十六日(月)の両日に第一回企業系就職ガイダンスを開催しました。

求人倍率1.89倍。これは、二〇〇七年三月卒業予定者の大卒求人倍率です。新聞紙上等でも「就職戦線は学生に追い風」との報道がされています。一方では、就職氷河期から脱却した二〇〇五年春入社の大卒社員の内、十五%が会社を辞めているという現実もあります(厚生労働省)。

一、就職環境は、全ての学生にとって追い風なのか?
二、就職活動の目的は、内定を得ることなのか?
自分のやりたい仕事を探すことなのか?

これから採用試験が始まる四月までが、一番重要になります。「自分を知る」「業界を知る」「仕事を知る」これが、就職活動準備の基本だと言われています。キャリア支援室では、このようなテクニックだけでなく、上記二つについても学生が真剣に考えるように様々な指導を行って参ります。



聖徳大学・聖徳大学短期大学部 第四十二回 聖徳祭

つなげ!笑顔の「和」

今年も聖徳祭が十一月十一日(土)・十二日(日)の日程で行われました。

今年は、「つなげ!笑顔の「和」」をテーマに、ご来校くださった皆様も学生自身も笑顔の絶えない学園祭にした

いと考え、学友会役員、各クラスの聖徳祭実行委員を中心に実施した学園祭でもありました。



その他にも各学科・クラスまたはクラブ・同好会なども日頃の勉強や練習の成果を思う存分に発揮していました。この二日間をとおり、今年

第42回 保育表現研究発表会を終えて



去る十月七日(土)に児童学科(昼間主・夜間主)・保育科(第一部・第二部)二年生による第四十二回保育表現研究発表会を挙行し、無事終了することができました。

発表会当日は、学生の保護者を始め、一般のお客様や先生方、附属高校の生徒を含め立見がでるほどたくさんの方々にご来場いただき



き熱い拍手を送っていたいただきました。演技をする学生もそれに影響を受けて、一段と磨きのかかった演技のびのびとステージで披露することができました。学生一人ひとりの演技に対する情熱と練習が十分に活か

内での話し合いを繰り返し、厳しい練習をこなしていく過程で、ひとつの芸術作品を作り上げていく大変さを感じたことと思います。先生達の発表会に対する姿勢、先生方が熱心にご指導くださった姿から改めて「保育の聖徳」の伝統を感じました。

ここで得た学生達の経験は、将来教育者となるための糧となったに違いありません。

この日のために、演技をする学生はもちろん、指導に当たってくださった先生方による春先からの十分な課題計画によりこの日を迎えました。学生達は、クラス

「大根先生」利用者をよく観察

「石井先生」介護は人が好きじゃ

「上畑先生」介護福祉学科の歴史は長く、介護福祉学科の前身である生活文化

「石井(紀)先生」学生が実習に行っている間に実施する実習巡回指導

「石井(享)先生」事例研究という授業

「石井(享)先生」実践の科学としての介護

「石井(享)先生」実践の科学としての介護

「石井(享)先生」実践の科学としての介護

「上畑先生」介護福祉学科の歴史は長く、介護福祉学科の前身である生活文化

「石井(享)先生」事例研究という授業

「石井(享)先生」実践の科学としての介護

「石井(享)先生」実践の科学としての介護

「石井(享)先生」実践の科学としての介護

インタビュー
聖徳大学 短期大学部 介護福祉学科

Girls be ambitious

介護福祉学科 上畑鉄之丞先生
教授 石井 享子先生

講師 石井 紀子先生
講師 大根 静香先生

高齢化社会を迎える今、介護福祉の拡充、教育への期待は急速に高まっています。今回は、技術や知識だけでなく「介護の心」を教える介護福祉学科の先生方にお聞きしました。

「上畑先生」「Girls be ambitious」。

性別に関係なく、女性も大きな役割を背負っていかねばならないのだから、介護福祉士になって福祉の世界を背負って欲しいと思います。

「石井(紀)先生」実践の科学としての介護にぜひ興味を持ってもらいたいと思います。主体的に介護の計画を立てると、どんな介護は楽しくなります。

「大根先生」介護を「やってあげている」ではなく、「利用者と共にいる」という気持ちで味わって欲しいと思います。車椅子の利用者が歩けるように自分と一緒に頑張らなければならないという気持ちでハビリをやっていくと、いつか歩けるようになったときに、「やってあげている」とは介護士は思わないようになっていくと思います。これに至るには経験が必要ですが、実習中の学生にはまず利用者笑顔で「ありがとう」と言ってもらえる自分になることを目指して欲しいです。

「石井(享)先生」多くある仕事の中で介護福祉士と人との距離が短くなる仕事は少ないと思います。介護をしているうちに、その人自身の生活に深く関わり、また相手も自分に近づいていくという感覚になってきます。介護はその魅力が本当に強くなる仕事だと思っています。



ボランティア活動グループの「聖徳ピーシーズ」が発足

抄や聖徳大学附属高校のマーチングバンド部による演奏、商工会議所女性会と聖徳リリーズによるよさこい踊りが披露され発足式を盛り立てました。



このグループは少子高齢化、消費生活等の状況変化に対応して松戸市中心街地の美化、活性化を図り経済の活力向上にソフト面から寄与するものです。活動の中から社会貢献、ボランティア精神の育成、コミュニケーション能力やマーケティング能力を身に付け将来の女性起業家の育成に役立てる事を

十一月五日(日)、本学と松戸商工会議所、松戸市役所との産学官連携事業の一環としてボランティア活動グループ「聖徳ピーシーズ」が華々しく発足しました。当日は下山会頭、川井市長、本学松島副学長のご挨拶

各商店街の季節毎のイベント支援、美化活動、商店街のマップ作り、HP作成等のお手伝いをします。松戸まつりでは企画、立案から参加してイベントを成功させました。

メンバーは生涯学習研究同好会の有志が中心となりボランティアに興味のある各学科の学生が参加しています。

協定校・台南科技大学の創立四十二周年記念式典に参列



約一万二千名。本学とは前身の台南女子技術学院当時の平成十六年三月三十一日に学術・教育国際交流協定を締結して以来、活発な交流活動を行っています。

式典は、台南科技大学の劉應嶽理事長先生、陳鴻助校長先生をはじめ、モンゴル国立科学技術大学、クア

した衣装を着用し、運動場を明るくにぎやかに行進。学生自身が式典を盛り上げるために一所懸命に取り組んでいる様子が伝わってきました。行進後、劉理事

平成十八年十月二十八日(土)、二十九日(日)の両日、本学川並弘純副理事長が本学協定校・台南科技大学の創立四十二周年記念式典(科技大昇格後、初めての式典)に参列しました。

台南科技大学は、台湾唯一の女子大学で、学生数は

式典後は、当大学の図書館を始め、素晴らしいキャンパスを見学しました。さらには、台南科技大学と本学の担当者が留

中国 研修旅行



日本文化学科図書館 情報コース二年Bクラス 望月安須加さん

九月十三日(水)、私たちは中国研修旅行の最初の地、北京に降り立ちました。始めて足を踏み入れたこの地には永きに渡る歴史が今なお息づき、市民の生活の中で現代と歴史が脈打っているかのよう

また、最終地である上海で訪れた上海図書館では、中国



紙のテキストを使う学習は「一度使うと汚れる」「古くなると色褪せる」「置き忘れると大変」「辞書など運ぶのは重い」などの問題がありました。それに対してPCによってインターネットの情報を活用すると次の長所があります。①画面が常に綺麗、②いつでも、どこでもPCは使える、③音声モデルはクリックだけで、④画面上で文字の色彩、大小、濃淡、活字の種類を

英米文化学科 第十五回 アメリカ語学研修について

英米文化学科では、英語のコミュニケーション能力を伸ばすことと、異文化理解を深めることを教育目標として、平成四年度より三年次生を対象にアメリカ名門女子大学ミルズ・カレッジ(以下ミルズ)と略で語学研修を行っています。

また、ミルズでの勉強の間をぬって、サンフランシスコに出かけました。ミュージカルを鑑賞したり、市内見学、ケールカー乗車等々、授業を離れて心に残る楽しい時を満喫しました。そして、フィッシャーマンズ・ウィフの有名なレストランで、現代ビジネス学科・臨床心理学科の学生たちと合流して昼食をとりました。

九月三日(日)から二十五日(月)まで二十三日間の研修でした。学生たちは三週間ホームステイ(以下HS)と略をし、毎週月曜日から金曜日、九時半から午後三時までミルズで授業を受けました。さらに週二日午後三時から四時半まで、ミルズの学生三名

初から最後まで英語だけの生活をする事で、今までの英語学習を振り返り反省すると同時に、異文化体験を通して、英語力をいっそう深められたのではないのでしょうか。

この語学研修では、ミルズカレッジの充実したカリキュラムはもちろんのこと、CPとHSのプログラムにより、学生たちが英語力を充実させたことが特長です。学生は最



外国語学科・英米文化学科 インターネットを活用する新時代に!

率的な外国語学習が可能になったようです。今のところ、インターネットの二十編は下記ウェブページからアクセスでき、また、そのマニュアル(テキストの大意、語注、文構造解説は小冊子(三十二頁)「無料」として希望者に差し上げています。

【無料】の小冊子

インターネットで学ぼう! 本物の英語を楽しく身につけよう!

申込先は 島岡丘 外国語学科 研究室へ

FAX: 047-363-1401

http://www.j-call.org

幼児教育専門学校

だより

合同運動会

十月十五日(日)秋晴れのなか、聖徳学園三田幼稚園との合同運動会を、隣接の港区立御田中学校において開催いたしました。

本年は、予定されていた十月五日(木)予備日の六日(金)と雨天のために順延となり、待ち望んでいた運動会が中止になるのではないかと落胆していたところ、御田中学校のご好意により、開催のはこびとなりました。



の部では、専門学校生によるマスゲームダンス「ひらけ!夢のとびら」やクラス対抗リレーを行いました。

恒例の仮装行列では、昼休みや放課後を利用し、クラス一丸となって作製した

成果を、園児や園児の家族みんなに発表しました。午後の部には、綱引きを、日ごろの力をこの時ばかりと「オーエス」の掛け声とともに白熱した戦いを繰り広げるうちに、瞬間に運

動会が終了しました。学生という立場で、演技・競技をする側とそれを支える側の両方が実践できる。まさに、専門学校ならではの合同運動会であったと思います。

文化祭

(聖徳にこにこまつり)

十一月三日(金)は、ここ数年にはないさわやかな日和の文化祭(聖徳にこにこまつり)となりました。



本文文化祭は一日ではありませんが、前日から校内の廊下、階段等に装飾をし、園児や来場者の「心を和やかにする」まさに聖徳の真骨頂とも言える装飾が施されていました。

児童文化Ⅱ・Ⅲの研究発表会の場としておこなわれる文化祭では、三大発表である大型絵本や手作りおもちゃ、また児童文化の授業(人形劇・紙芝居)を、実際に園児に実演することですらに

授業の大切さを実感したことと思います。一方、クラスの企画であるあそびコーナーでは、

授業の大切さを実感したことと



- 今後の予定**
- 12月2日(土)……第5回学校・入試説明会
 - 9日(土)……第8回オープンキャンパス
 - 10日(日)……ピアヘルパー資格認定試験(対象学年:Ⅰ部2年、Ⅱ部2年)
 - 16日(土)……授業終了
 - 18日(月)・19日(火)……補講期間
 - 2007 1月9日(火)……授業再開
 - 13日(土)……第9回オープンキャンパス
 - 21日(日)……第50回グループ研究発表会
 - 29日(月)……後期授業終了
 - 30日(火)～2月5日(月)……後期試験

第二十四回 聖徳祭

盛況に開催される



附属中学校・高等学校

本校の聖徳祭は、「社会性」を柱の一つとし、ご来校いただいた皆様へのホスピタリティ精神の高揚をめざしました。初日のオープニングセレモニー以降、中学校英語劇コンテスト、普通科音楽コンクール、第二日目の

「愛」～みんなで手をとって～のテーマのもと、本年度の聖徳祭が開催されました。部活動・クラス・学年・後援会など五十を超える参加企画により、研究発表・展示発表・演奏会・模擬店など多彩なイベントが開催されました。総入場者数二千七百五十二名、動員総数三千九百五十四名と大勢のお客様にご来校いただきました。



(後援会の皆様の絶大なご

協力をお願いいただきました)、後援会バザー、吹奏楽部・音楽科吹奏楽コースの演奏会は活気に溢れていました。今回の聖徳祭は在校生の活動発表の場であると同時に、受験生にとっては「入試相談」の好機でした。昨年とはほぼ同数の中学受験・高校受験希望者が、真剣に本校入試委員教員と相談をしました。受験生・保護者の皆様にとっては、普段と

違う生徒の活気ある生活の一面を見る良い機会であったと思います。閉会式で、現明和会長(生徒会)と聖徳祭実行委員長より、下級生への聖徳祭ポスター引き継ぎが行われました。校内では、年末に向け、各組織での引き継ぎの時期を迎えています。来年の聖徳祭も成功させるという意欲のもとに、各団体の成果を期待したいと思います。

第24回 聖徳中学校・高等学校 体育祭大成功!



九月三十日(土)、気持ち良く晴れ渡った秋空のもと、第二十四回体育祭が本校第一グラウンドで開催されました。

体育委員・応援団を中心に限られた時間の中、周到な準備をしてみました。スローガンである「はばたけ、我らの聖徳魂!」熱き友情の戦い!」そのままに、競

技や演技に各三色の団が全力を出し切った素晴らしい体育祭になりました。



本年度もメイン演技である、応援合戦・体育科組体操などの内容に会場全体が大きく盛り上がり、見学してくださった皆様にも、深い感動を与えられた体育祭になりました。

この体育祭でまとまったクラス・各団を中心とした

聖徳中高の「和」が深まり、大きく飛躍した心に残る最高の体育祭になりました。

附属小学校通信



また行きたいな キッズニア ~プレビューにご招待~

九月二十六日(火)、附属小学校の五年生八十八名は、江東区豊洲にできたキッズニア東京のプレビューに参加しました。キッズニアとは、メキシコでオープンした幼稚園生や小学生を対象とした職業体験施設で、世界で二番目のオープンです。マスコミでもたびたび取り上げられる程の人気施設

ですが、十月五日以降は、きつと相当混雑していることでしょう。当日は、豊洲駅に到着後、スタッフの方から案内をしていただき、腕にタグをつけてもらって入場しました。施設の中には、そこだけ使える「キッズ」という単位のお金や、子どもの身長に合わせた建物など、小さな社会ができあがっていました。

場所には慣れない児童もいましたが、様子がつかめた児童ほど積極的に活動していました。「憧れの仕事が、このキッズニアで見つかる」「そんな魅力あふれた所でした。」

附属小学校では、児童の国語力を高めるとともに、教師の話す力も高めるため、九月十六日(土)・二十日(月)に、「雅会」の皆様の協力により、嘶家さんに来ていただき「落語授業」を実施しました。

ばかりで、理解できるのかどうか心配でしたが、大笑いしている児童がほとんどで、良い経験ができたようです。一人で何役もこなしていることに驚いた様子もみられました。



言葉の大切さを学ぼう! ~落語授業~

また、「声のかけ方によって、人は良くも悪くも、強くも弱くもなる」という内容の講演がありました。実際に体験できるものを例としてお話しされたことで、児童も実際に試して、納得ができたようです。二つの目的で行われた授業でしたが、どちらの目的も達成できたと思います。児童も教師も、本物を体験することの良さを実感した授業でした。

九月十三日(水)二年生ワークスペースにおいて、二度目の保護者による出張授業が行われました。

二年生、齊藤慶太君のご親戚でNPO法人日本子守唄協会代表の西館好子先生をお招きして子守歌の学習をしました。どうして「子守歌」がお仕事になるのか、初め児童は不思議そうに聞いていました。しかし歌が始まると口々に「知ってる!」と笑顔を見せ「江戸の子守

歌」など数曲を一緒に口ずさみました。自分達もかつて赤ちゃんの頃に歌ってもらった歌。言葉の意味や、どうやって作られたのかという話を丁寧に教えていただき、あらためて歌の大切さを知ることができました。



保護者による出張授業「子守歌」



今年度、附属幼稚園にて五回目開催された「大学の先生とあそぼう」では児童学科の柳澤邦子先生による歌唱指導が行われました。この日は近づく聖徳祭に向け、附属幼稚園の全園児と第二幼稚園の五歳児合計約四百五十名が指導を受けました。約一時間に渡り、「園歌」「犬のおまわりさん」等の歌の特徴や歌い方、姿勢や発声について手遊びを交えながらの指導でした。参観された保護者の数は二〇〇名を超えました。

子ども達にとっては長い時間と思われましたが、少しも飽きることなく、有意義な参観された梅C組田中隼人ちゃんのお婆様よりお手紙をいただきましたのでご紹介いたします。

三歳から五歳までの一五〇名は超えていると思われ集団が、子どもにとってはなかなか長時間とも思えるのに持続しているこの忍耐力は何だろいうとも思いました。

多分、各々の内面で、子どもながら、ここでは、ちゃん

園児のお婆様からの手紙 附属幼稚園

幼稚園では、子育て支援対策事業の一環として、在園児や保護者、また地域の未就園児やその保護者を対象とした「リフレッシュタイム」を「一緒に」や「大学の先生とあそぼう」を開催してきました。

今年度、附属幼稚園にて五回目開催された「大学の先生とあそぼう」では児童学科の柳澤邦子先生による歌唱指導が行われました。この日は近づく聖徳祭に向け、附属幼稚園の全園児と第二幼稚園の五歳児合計約四百五十名が指導を受けました。約一時間に渡り、「園歌」「犬のおまわりさん」等の歌の特徴や歌い方、姿勢や発声について手遊びを交えながらの指導でした。参観された保護者の数は二〇〇名を超えました。

園の五歳児合計約四百五十名が指導を受けました。約一時間に渡り、「園歌」「犬のおまわりさん」等の歌の特徴や歌い方、姿勢や発声について手遊びを交えながらの指導でした。参観された保護者の数は二〇〇名を超えました。

（原文のまま掲載いたします）
大事な授業の一端を公開していただきましてありがとうございます。ありがとうございました。

まず手遊びが始まって、子ども達をだんだん集中させ、高揚させていく過程を（ご指導を）拝見し、感動いたしました。各々の家庭においては、かなり手を焼きはじめています。子ども達も、集団としてあのように先生の魔法に導かれて向かっていく姿は、確かに見ごたえがありました。

子ども達にとっては長い時間と思われましたが、少しも飽きることなく、有意義な参観された梅C組田中隼人ちゃんのお婆様よりお手紙をいただきましたのでご紹介いたします。

先生のお婆様が終わると早速親子バスの発車。もちろん運転手は子ども達、乗客はお母様です。♪バスに乗ってゆられてGO!GO! そろそろ右に曲がります。そろそろ左に曲がります♪元氣一杯に歌いながらスピードをあげたり、ゆるめたりとみんな運転手気分です。うれしそうなお表情でした。「はねてピョンピョン」「ドンダリ坂のドンダリ」等次々に紹介して頂き特にボンボンを持って踊った「たぬきのマンボ」は、軽快なリズムに乗って息はずませながら大フィーバー。走ったり、跳んだり、転がったり、時にはお母様におんぶして頂いたりと親子で楽しく触れ合っています。

としなければならぬということ、上手になりたい、きちんとしたいという無意識の自覚があり、それをツボを押さえた仕掛けでうまく引き出し効果的にまとめられたのだからと思えました。もう嫌だ」と言う間を手をなつかせた先生の笑顔と、子ども達のけなげさが、心地よいハーモニーとなって、聴き手の耳に響きました。そして小さな子ども達でもきちんと応えられる力と、表現する能力があることを認識させられました。

最後に、あれだけのことをしても（だから）と言った方がいい子に変わるのではなく、効果はまずと先かも知れないが、積み重ねが大事なのだから（今、まのあたり）に子ども達も、やらせればできるのだから）各家庭においても、親として（心して）唱い、読み、遊ぶこと（接していくように）を大事にしていく先生のメッセージも大変ありがたかったです。本当にどうもありがとうございました。

幼稚園短信

リズムのついで GO!GO!

附属第二幼稚園

去る十月十八日(水)本園で第六回「リフレッシュタイム」を一緒に」を講師に短期大学部保育科の中野真紀子先生と谷野悦代先生をお招きして開催致しました。

早い時期からPRしていたこともあり、今回は在園児の親子二十三組、未就園児の親子三十一組と予想以上の参加者がありました。

から五歳児までと年齢幅、発達差があるため親子で楽しめるようにと中野先生は色々と考えてリズム構成をしてくださりました。

先生の挨拶が終わると早速親子バスの発車。もちろん運転手は子ども達、乗客はお母様です。♪バスに乗ってゆられてGO!GO! そろそろ右に曲がります。そろそろ左に曲がります♪元氣一杯に歌いながらスピードをあげたり、ゆるめたりとみんな運転手気分です。うれしそうなお表情でした。「はねてピョンピョン」「ドンダリ坂のドンダリ」等次々に紹介して頂き特にボンボンを持って踊った「たぬきのマンボ」は、軽快なリズムに乗って息はずませながら大フィーバー。走ったり、跳んだり、転がったり、時にはお母様におんぶして頂いたりと親子で楽しく触れ合っています。



今後も未就園児を含めた幼児をもつ保護者の方々が気軽に幼稚園を利用できるように地域の幼児教育センターとしての役割を果たし、子育て支援に努めていきたいと思っています。

「二十世紀の森と広場」への遠足 三歳児桜組

附属幼稚園

さわやかな秋空の下、元気な三歳児の声が松戸市の「二十世紀の森と広場」にひびきました。十月十七日(火)、先生と園児達で遠足です。「秋の自然にふれ、友達や先生と楽しくすごす」ことを目的として附属幼稚園と第二幼稚園の三歳児が合同で行なったものです。

その日の朝、お弁当の入ったカバンを下げ、にこにこ顔の園児達は現地に着くと広々とした広場や色鮮やかな花、紅葉前の緑の樹々な



ど、たくさん自然に「わあーすごーい!」「ひろーいね」などの言葉や歓声があがりました。広場には芝が一面に広がり裸足になって歩いたり走ったりして芝の感触を楽しんだり、リングやフアンートンネルで遊んだり、鬼ごっこをしたりと本当に気持ちの良い空気の中で思う存分遊びました。

その後は待ちに待ったお弁当の時間。「いただきます」の挨拶もどかしそうにお母様手作りのおにぎりやサ

ンドイッチをほうばる園児、「見て見て、これママがつくってくれたの」「ぼくもだよ」などと会話をしながら食べる園児など、いつもより食欲も旺盛だったようです。あつという間に帰る時間となり「もう帰るの?」「もっと遊びたい」と少々物足りない様子を見せた園児もいました。春の遠足の時には保護者と一緒でも歩けなかったり、「ツカレタ」と言って泣き出した園児もいたことを思い出します。大きな「成長」が感じられ有意義な一日となりました。

ふれあい交流学習

附属第三幼稚園

本園は成田ニュータウンの中にあり、近隣は公園や保育園・小学校・中学校といった文教地区にあります。昨年より、成田市立台中学校の三年生が家庭科の「家族と家庭生活」の学習で、幼児とのふれあいをテーマに本園を訪問し交流学習を行なっています。今年も中学三年生の四クラス百五十名が四回に分かれ体験学習に訪れました。緊張した面持ちで幼稚園を訪れた中学生達の中には本園を卒園した懐かしい顔もあり、卒園アルバムの写真と見比べその成長振りに驚かされました。

全園児がホールに集まり、中学生と対面すると「わあ、大きいな!お父さんみたい」と見上げ、身体の大きさに驚いていました。合唱コンクールの歌をプレゼントされ園児

の中から「すてきだね!」「上手だね!」と声量の素晴らしさ、ハーモニーの美しさに感嘆の声が上がりました。それに応え園児たちからも歌のプレゼントをしました。中学生の歌に刺激されたのか、いつもより張り切って歌っているようでした。その後、クラス毎六グループに分かれて園児としっかりと手をつないで保育室に歩いていく姿は大変微笑ましいものでした。各保育室では、園児たちを前に中学生なりに考えた指導案に基づいて、手作りの紙芝居を読んだり、寸劇をしたり、自分達の得意な楽器で合奏したりと趣向を凝らし、園児たちと関っていました。しかし、中には思うような活動が出来なかったクラスもあったようで、思い



の自然に「わあーすごーい!」「ひろーいね」などの言葉や歓声があがりました。広場には芝が一面に広がり裸足になって歩いたり走ったりして芝の感触を楽しんだり、リングやフアンートンネルで遊んだり、鬼ごっこをしたりと本当に気持ちの良い空気の中で思う存分遊びました。

を伝える事や教える事の難しさを学んだようです。その後は、みんなで園庭に出てボール遊びや自転車・砂場遊具などの遊びや、中学生の身体をよく登ったり、肩車をしてもらって中学生と園児の笑顔と歓声でいっぱいになりました。中学生が帰るときに「こんなに思いっきり遊んだのは久しぶりだ。」「幼稚園ってこんなに楽しかったかな?」などと話しこの交流学習で、幼児理解を深めたり、自分の幼児期を振り返ったりする事が出来たように思います。また、園児たちも憧れのお兄さん、お姉さんの存在を持つ事が出来た良い機会になりました。私達保育者も中学生と関わる園児がいつもと違う様子を見せる場面もあり、意識を新たにしたり、中学生の新鮮な感覚にも触れ大変貴重な一日となりました。

身近な場面からお仕事している人は誰でしょう?と言う問いかけに、園児からやはり一番は「お父さんとお母さん」と言う声が上がります。会社に行く、お家でお仕事している、お店に行く、ご飯を作る、洗濯掃除などお仕事していることを認識しています。その他では「おまわりさん」「電車の運転手」「お花屋さん」など自分の将来を夢見ている仕事内容が挙がってきます。お仕事している人はみんなの為に仕事をして

働く人にありがとう! 勤労感謝の日

三田幼稚園

身近な場面からお仕事している人は誰でしょう?と言う問いかけに、園児からやはり一番は「お父さんとお母さん」と言う声が上がります。会社に行く、お家でお仕事している、お店に行く、ご飯を作る、洗濯掃除などお仕事していることを認識しています。その他では「おまわりさん」「電車の運転手」「お花屋さん」など自分の将来を夢見ている仕事内容が挙がってきます。お仕事している人はみんなの為に仕事をして

「おもちになってきた!」「つぶつぶがなくなってるつぶつぶになってきたよ」というおもちの音に、園児たちも「おいしいね」といって嬉しそうに食べています。おもちの音に、園児たちも「おいしいね」といって嬉しそうに食べています。おもちの音に、園児たちも「おいしいね」といって嬉しそうに食べています。

「おもちになってきた!」「つぶつぶがなくなってるつぶつぶになってきたよ」というおもちの音に、園児たちも「おいしいね」といって嬉しそうに食べています。おもちの音に、園児たちも「おいしいね」といって嬉しそうに食べています。



「おもちになってきた!」「つぶつぶがなくなってるつぶつぶになってきたよ」というおもちの音に、園児たちも「おいしいね」といって嬉しそうに食べています。おもちの音に、園児たちも「おいしいね」といって嬉しそうに食べています。

おかあさんと一緒

多摩中央幼稚園

「いつもお母さん来るの?」「僕ね、お母さんが来るのとっても楽しみになんだ」などと言いつつ園児達の姿が何日も前から見られ、園児達がとても楽しみにしていた保育参観が、十一月十六日(木)・十七日(金)に行われました。年少組の桜組は一学期の保育参観で保護者と離れられずに泣く園児や恥ずかしがっている園児もいましたが、この半年間に園児達は大きく成長しクラスの活動に友達と一緒に参加できるようになりました。この保育参観

では、保護者に成長の姿を見て頂く場面や、聖徳にこにこまつり(バザー)の経験を生かし、お部屋さんごっこのようなごっこあそびを通して社会性の発達が見られる場面など、保護者の力を借りてより一層園児達の成長の表情を見ることができました。年長組として様々な行事で係や司会を行う事で、幼稚園で一番大きなお兄さん、お姉さんとしての自覚が出てきた松組は堂々と前を向いて歌を歌ったり、人前で話す



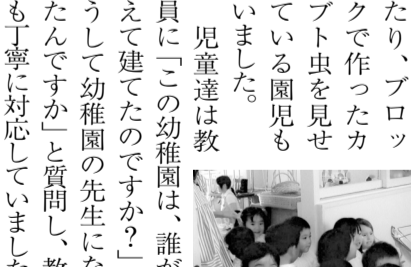
ことで得られる満足感を味わったりできます。梅組は遠足やクラスでの集団あそびを通して友達との存在の大きさ、クラスの意識をもたよう、まとまつり一つの活動に取り組み姿が見られます。又保護者と一緒に活動に参加して、自然に笑顔がこぼれる参観となりました。学期毎に一度行われる参観は園児達にとっても、私達教師にとっても、そして保護者の皆様にとっても楽しみに、又有意義な行事の一つです。

小学生が 浦安幼稚園に訪問

附属浦安幼稚園

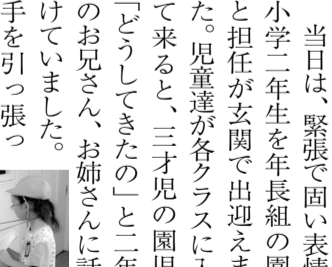
十月十八日(水)、浦安市立日の出南小学校二年生が生きこねたりする機会も少なくなってきた。臼と杵を見て「大きな木だね。穴があいてるよ」「重たいトンカチだね」と臼と杵を知らなかったり、おもちをつくる為にあるという事を知らなかったり、子どもが多く見られ、実際につくるところを見ると「ヨイショー!ヨイショー!」と臼と杵の迫力に驚いています。園内での行事の中で日本の伝統行事に触れる事は園児にとってもとても貴重な体験になっています。こういって経験が大切にながら今後日本の伝統的な行事や風習を伝えていけるよう努めて参ります。

当日は、緊張で固い表情の小学二年生を年長組の園児と担任が玄関で出迎えました。児童達が各クラスに入ってきたら、三才児の園児は「どうしてきたの?」と二年生のお兄さん、お姉さんに話かけていました。話を引張り、ブロッコで作ったカブト虫を見せながら、園児も驚いていました。児童達は教員に「この幼稚園は、誰が考えて建てたのですか?」「どうして幼稚園の先生になつたんですか?」と質問し、教員も丁寧に答えていました。



園卒園の児童もいて、元担任の先生に「幼稚園の運動会で、玉ころがしをしたこと覚えていますか?」と懐かし気話しかけていました。話の方や挨拶をしている姿から、小学校に入ってから成長している事を頼もしく思っていました。児童達は短い時間でしたが、園児とのかけっこや砂遊びと、楽しく過ごしたようでした。帰りには一斉に教職員にお礼の言葉を述べて、次の探検地へと出発しました。本園で体験したことを、おみやげ話に学校を持ち帰ってくればと願った日でした。

園卒園の児童もいて、元担任の先生に「幼稚園の運動会で、玉ころがしをしたこと覚えていますか?」と懐かし気話しかけていました。話の方や挨拶をしている姿から、小学校に入ってから成長している事を頼もしく思っていました。児童達は短い時間でしたが、園児とのかけっこや砂遊びと、楽しく過ごしたようでした。帰りには一斉に教職員にお礼の言葉を述べて、次の探検地へと出発しました。本園で体験したことを、おみやげ話に学校を持ち帰ってくればと願った日でした。



園卒園の児童もいて、元担任の先生に「幼稚園の運動会で、玉ころがしをしたこと覚えていますか?」と懐かし気話しかけていました。話の方や挨拶をしている姿から、小学校に入ってから成長している事を頼もしく思っていました。児童達は短い時間でしたが、園児とのかけっこや砂遊びと、楽しく過ごしたようでした。帰りには一斉に教職員にお礼の言葉を述べて、次の探検地へと出発しました。本園で体験したことを、おみやげ話に学校を持ち帰ってくればと願った日でした。

平成19年度 入試日程

聖徳大学大学院通学課程 [共学/昼・夜開講]

Table with columns: 研究科, 課程, 入試区分, 願書受付期間, 入試日. Rows include 児童学, 臨床心理学, 音楽文化.

聖徳大学人文学部(女子)・聖徳大学短期大学部(女子)

Table with columns: 対象, 入試区分, 願書受付期間, 入試日. Rows include 自己推薦入試, 公募推薦入試, AO入試, センター試験入試.

*1 センター試験入試音楽文化学科試験日: A日程1/30(火) B日程2/21(水) C日程3/13(火)
*2 一般A日程の入試日は、学科により指定日あり。
*3 入試日自由選択制(音楽文化学科は指定日: 一般B日程2/21(水) 一般C日程3/13(火))

◎一般入試A日程 入試日別実施学科

Table with columns: 入試日, 実施学科. Rows include 1月29日(月), 1月30日(火), 1月31日(水).

聖徳大学人文学部編入学(女子) 聖徳大学短期大学部専攻科(女子)

Table with columns: 対象, 入試区分, 願書受付期間, 入試日. Rows include 編入学, 専攻科.

聖徳大学幼児教育専門学校(女子)

Table with columns: 入試区分, 事前相談(予備面談), エントリー受付, エントリー面接, 願書受付期間, 最終試験. Rows include AO入試(後期), 推薦入試, 一般入試.

聖徳大学附属中学校(女子)・聖徳大学附属高等学校(女子)

Table with columns: 対象, 入試区分, 願書受付期間, 入試日. Rows include 中学, 高校.

聖徳大学附属聖徳中学校(女子)・聖徳高等学校(女子)

Table with columns: 対象, 入試区分, 願書受付期間, 入試日. Rows include 中学, 高校.

聖徳大学附属小学校(共学)

Table with columns: 入試区分, 願書受付期間, 入試日. Row includes 一般入試第II期.

平成18年度 第III期 SOA 公開講座のご案内

平成18年度第III期(通算第43期)SOA公開講座を、平成19年1月から3月にかけて開講いたします。今年度のSOA年間テーマ「健康とからだ」にちなんだ講座や地域を取り上げた講座など、特設講座、キッチンスタジオ、教育・心理、文学、生活・環境、社会・福祉、情報・ビジネス、芸術・文化、健康・スポーツ、語学の10ジャンルにわたり、100を超える講座をご用意し、皆様のお越しを心よりお待ちしております。

聖徳大学人文学部音楽文化学科ピアノコース



Table listing performers and pieces: 佐々木佳奈 (ベートーヴェン: ピアノソナタ 第4番), 山本 矩子 (ベートーヴェン: ピアノソナタ 第14番), 鈴木 花織 (ショパン: スケルツォ 第2番), 島村 結花 (ブラームス: ピアノ小曲集 作品118-1,2,3), 佐藤 弥生 (プロコフィエフ: ピアノソナタ 第3番), 福田あすか (バッハ: ブゾーニ: ジャコンヌ), 手塚 泰代 (メンデルスゾーン: 厳格なる変奏曲), 萩原 美香 (ショパン: 幻想曲 へ短調 作品49), 藤井 遼子 (ラフマニノフ: コレリリの主題による変奏曲).

2007年1月7日(日) サントリーホール(小ホール)で開催。
● 13時00分開演 (12時30分開場)
● 会場: サントリーホール小ホール ● 入場料: 1,500円 (全自由席)
● 主催: 聖徳大学音楽研究センター
● お問い合わせ: 聖徳大学音楽研究センター事務局 Tel.047-365-1111 (大代)

Table of SOA lectures: 講座名, 第III期 SOA 開講予定講座(抜粋), 講師名. Rows include 栄養と健康シリーズ, 病にならないために病気を知ろうPart4, 高齢者の介護と病気の理解, etc.

冬休みの予定は決まりましたか? まだ間に合う! 宿泊施設のご案内です

信州春日温泉へどうぞ! かすが荘
長野県佐久市春日温泉
寒い冬には温泉が1番! 体の芯までぽかぽかと温まり、また、雪景色の中入る露天風呂は風情もあります。
今年冬はご家族やお友達と一緒にかすが荘に遊びに来てみませんか?

ご予約は現地フロントが直接承ります
かすが荘 TEL: 0267-52-2111
山中湖荘 TEL: 0555-62-3111
各施設の詳細はwebでご覧いただけます
http://www.seitoku.jp/gakuen/house/

山梨県南都留郡山中湖村平野506
これからのシーズンにサンタクロースミュージアム(1/5~2月末休館)などはピッタリ。また、山中湖花の都公園では山中湖アートイルミネーション「FANTASEUM」を開催中(1/8まで)です。
[高速バス] 京王バス(03-5376-2222) 富士急行バス(0555-72-5111)
新宿 → (京王バスまたは富士急行バス) → 旭丘バス(スターミナル) → (バスまたは徒歩) → シャトーテル山中湖 → 山中湖荘
[自動車] 八王子 → (中央自動車道) → 大月(河口湖方面へ) → 富士吉田I.C. → (山中湖方面へ) → 山中湖荘

学校法人 東京聖徳学園
〒108-0073 東京都港区三田3-4-28 TEL.03-5476-8811(代)
発行人 川並弘昭 編集 理事長室 企画渉外課 06.12.1 re (27.6)

The 75th Anniversary
読者の欄
学園広報誌聖徳フラッシュをお読みいただきありがとうございます。聖徳フラッシュは皆様の広報誌です。つきましてはインターネットを利用して皆様の聖徳フラッシュに対するアンケートを取らせていただいております。お手数ですがご協力のほどよろしくお願いたします。今後、ますます充実させていきたいと思っております。是非皆様からのご意見・ご感想をお寄せください。
<アンケートURL> http://www.seitoku.jp/gakuen/flash/index.html
<ご意見・ご感想の宛て先>
〒271-8555 千葉県松戸市岩瀬550 東京聖徳学園「聖徳フラッシュ」係まで
(インターネットからは http://www.seitoku.jp/gakuen/toiawase/ の「その他のご意見・お問い合わせ」まで)

印刷物に関する情報: この印刷物は古紙配合率100%再生紙を使用しています。この印刷物は大豆油を主成分とした環境にやさしいインクを使用しています。